

活動報告（12月レポート）

担当：県西部農林事務所農業女子会プロジェクトチーム

表題：第4回「つながる農業女子会」を開催しました

日時：平成30年12月10日（月曜日）

会場：サーラプラザ佐鳴台 “食Labo.”（浜松市中区）

県西部農林事務所が若手女性農業者の経営力向上とネットワークづくりを目的に開催している「つながる農業女子会」の今年度第4回は、9人の女性農業者が参加し、自身が生産する農産物の魅力をより印象的に伝える方法を学びました。

講師はフードコンサルタントの小杉恵先生です。

《演習「消費者の心に響く販売方法」》

前半は演習として、受講生が自社商品のプレゼンを行い、一人ひとり、講師からアドバイスをもらいました。バイヤーとの信頼関係の築き方やファン獲得につながる消費者の「ワクワク感」を喚起する方法など、商品の良さの伝え方から、商品の企画内容そのものに至るまで、個別具体的で実践的なアドバイスをいただきました。他の受講生へアドバイスされた内容についても、全員、熱心にメモを取り、それぞれ、自社の経営に取り入れられる多くのヒントを得た様子でした。

《講義「農産物をとっておきの食材として美味しく見せるコツ」》

後半は、受講生たちが生産している農産物を材料として、講師が実際に調理・盛り付けを行いました。消費者が買いたくなるポイント（「簡単」「ヘルシー」「時短」「SNS映え」）について解説しながら、講師がカリフラワー、ブロッコリー、サニーレタス、ミニトマト、ゆず、レモンなどを、あっという間に前菜、グラタンなど素敵な4品に変身させていく様子を目の当たりにして、受講生たちは「かわいい」「簡単！！」「美味しそう」などと感動の声を上げていました。

終了後は「先生のアドバイスがすごく具体的でわかりやすかったです」「実行できることは、すぐ行いたいと思います」「相手にワクワクを与えるのは大切だと思いました」などの感想が聞かれ、充実したセミナーとなりました。



演習（受講生によるプレゼンの様子）



講義（講師による調理・盛り付け）



完成したグラタン